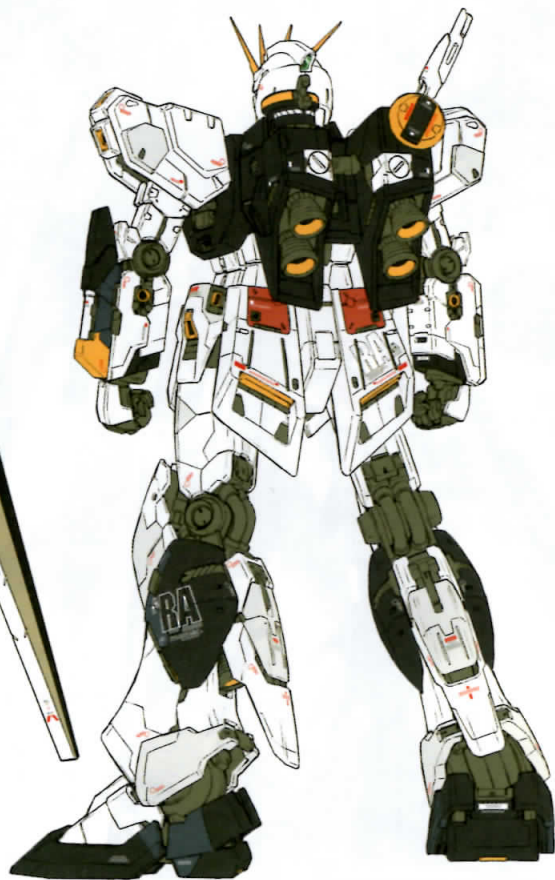
MOBILE SUIT RX-93 ν GUNDAM Ver.Ka

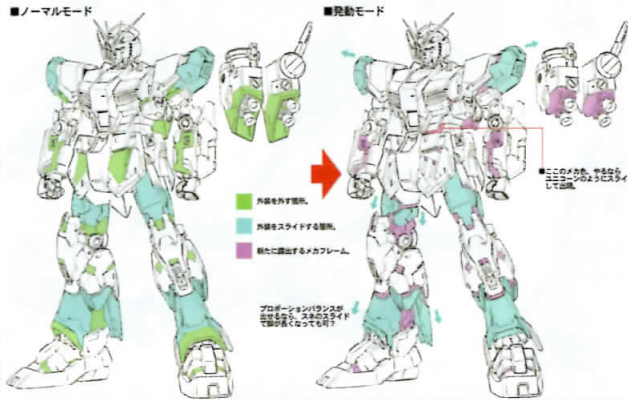
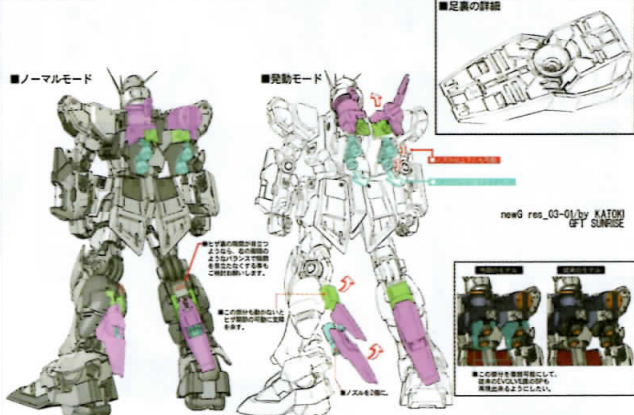
通常モードから発動モードへ

MG νガンダム Ver.Kaでは、装甲をパージ・展開することで、サイコフレームが露出した"発動モード"となる

RX-93 νガンダム

アムロ・レイ大尉自らが設計スタッフとして参加し、開発したMS。この機体は"MSは機動性の高い機動歩兵である"という、一年戦争時代のコンセプトに立ち返りつつ、ガンダムタイプとしては初のサイコミュ搭載型となった。フィン・ファンネルを装備し、新素材"サイコフレーム"が採用されている

RX-93 νガンダム for MG model
修正後

➡頭部側面にあるダクトの断面を三角形に、ブレードアンテナの処理、前腕の面処理などにも指示が入っている。このような細かな調整が全身にわたり行なわれている

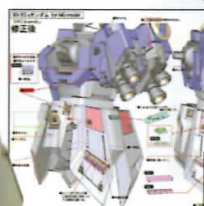
⬆通常モードと発動モードの変更箇所。マーカーで塗られた部分が変わるという指示。緑が外装を外す箇所、水色が外装をスライドする箇所、ピンクが新たに露出するメカフレームを示している

⬆バックパックも発動モードでは上部のパーツがせり上がり、スラスター部の装甲もパージされる。バーニアが2個になったふくらはぎは、装甲カバーが展開する

⬅⬇肩、上腕、前腕、胸、腹部はスライドすることでサイコフレームが露出する。胸部はLEDユニット（別売り）が収納できる構造で、頭部のカメラアイが発光する

⬆胸部インテークを囲む下側の装甲を白い成型品に差し替えることで、DOME-G映像版を再現することができる

⬆発動モードのバックパックは、下部の装甲が外れてスラスター・ユニットがむき出しとなる。バーニアノズルは上下に可動する

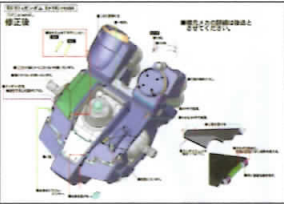
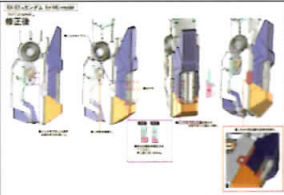
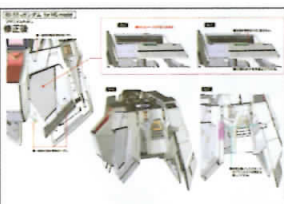
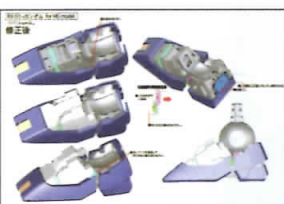
※ガンプラ用LEDユニット（緑）（別売り）

⬅コクピットハッチは上へスライド。胸部中央ブロックも可動し、コクピットが見える

⬅バックパック、リアスカートへのディテール追加・修正案。スジボリの形状や傾斜、内部メカの見せ方などが提案されている

➡ふくらはぎのカバー内部を削り、ピンク色で示されたプレートを大きくする指示が出されている

➡「エモーション・マニピュレーター SP」は、すべての指が可動し、親指の付け根もクランク可動する。また、手の平の板リブを引き起こして接続することで武器を確実に保持することができる

⬅足裏のディテールも再現。機体固定用の“ツメ”も4カ所が可動する

⬆発動モードの脚部は、大腿部、ヒザカバー、スネ、足の甲がスライド、グリーンのサイコフレームが露出する。大腿下部側面とスネ裏の装甲はパージされる

⬆胸部では、スジボリやC面（直行している角の部分を落とした面のこと）の幅も均一ではなく、パーツごとに指定されている

⬆左前腕のビーム・サーベル・ラックに入るディテールの形状、バーニア周辺に彫られるミゾの深さも調整が加えられている

⬆フロントスカートは、装甲の一部がパージする。修正画稿では、パージされるパーツとスカートとの段差も指示されている

⬆足の甲を覆う白いパーツと、濃紺の外装パーツが重なる部分が"噛み合わさる"ような形状になるよう、修正が加えられている

⬅アムロのパーソナルマークを象った専用ディスプレイベースが付属。攻撃形態のフィン・ファンネルも同時に飾ることができ、接続アームが6本セットで付属する

⬅左腕のビーム・サーベル・ラックは、スライドギミックを搭載。ビーム・サーベルを取り出すことができる

➡バックパックのジョイントパーツは左右2個が付属。ダブル・フィン・ファンネル装備状態を再現できる

⬇➡ビーム・ライフル、ニュー・ハイパー・バズーカ、ビーム・サーベル、シールド、アムロ・レイのフィギュア2種が付属

ダブル・フィン・ファンネル

MOBILE SUIT RX-93 νGUNDAM Ver.Ka

⬆フィン・ファンネルはすべて分離・可動。連結パーツを移動させることで、取り付け位置を任意に変えることができる

『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』

U.C.0093年、シャア・アズナブルは新生ネオ・ジオン軍の総帥となり、人類を粛清するべく、地球寒冷化作戦を決行。小惑星5thルナに続き、アクシズをも落下させようとする。ブライトとアムロが所属する地球連邦軍ロンド・ベル隊は、シャアの作戦を阻止するべく行動を開始。地球の命運を賭けて、2人のニュータイプが激突する!

さらなるK点越えをめざした「νガンダム」

10年の節目を迎えたMG"Ver.Ka"がアニバーサリーモデルとして選んだのが、νガンダムである。しかも今回はガンダムフロント東京（GFT）版のνガンダムと連動したデザインにもなっている。さらに"発動モード"という新たな姿を手に入れたνガンダムは、どういう道程を辿り生まれてきたのだろうか。

Interview ; HORIGUCHI SHIGERU(SUNRISE), KATOKI HAJIME

カトキ「アニメーションで描かれたνガンダムは、とても完成度の高いデザインです。ですから今回のVer.Kaの開発にあたり、オリジナルのデザインの良さを損なうことなく立体化するという、MGで定石の手法でアプローチしていく選択肢もありました。しかし、MGですでにνガンダムは一度キット化されているのはご存じのとおりです。ボディスタイルを損なわない範囲でプロポーションを調整し、装甲にスジボリを加えて、あとは可動機構をアップデートする感じでまとめてしまうと、νガンダム2度目のMGへの挑戦というには、ちょっと寂しい物になってしまいます。なにかもっと面白くて皆が楽しめる物を、と考えていたとき脳裏によぎったのが『GUNDAM EVOLVE』版のνガンダムでした」

「GUNDAM EVOLVE」シリーズ(2001年)は、CGによる新しい表現を模索していく映像トライアル・シリーズである。その中の「EVOLVE5」RX-93 νGUNDAMは、ストーリープロットに富野由悠季監督も参加し、劇場版とは異なる抄訳が大胆に行なわれている。

カトキ「『EVOLVE 5』のνガンダムは、非常にインパクトがあります。発表当時も話題になっていました。『EVOLVE 5』版の立体物を手に取ってみたいという気持ちは、私にも以前からありましたが、『GUNDAM EVOLVE』というのはやはり少々マニアックなタイトルなので、メジャーに向けたガンプラ市場で理解が得られるかというと、そのままでは難しいのです。それでGFTで新たに作るムービーのデザインの相談を受けた時に、『EVOLVE 5』を作った増尾隆幸監督が再びνガンダムを撮ると聞きまして、この機会ならハードディテールの『EVOLVE 5』版を通常のνガンダムとリンクさせて、メジャーに訴えられるのではないかという提案をさせていただきました。ガンプラは素材そのままを生かすのがベストであるのを承知しつつも、νガンダムを最新の技術をもって大胆に造り込んだらどうなるか。Ver.Kaシリーズとしては、RB-79ボールの様なラジカルなトライアルになると覚悟しました」

『GUNDAM EVOLVE』シリーズで企画・制作を担当したサンライズの堀口滋プロデューサーと増尾隆幸監督が、GFT "DOME-G" の特別映像を手掛けることになり、"νガンダム" をジャンクションに、2つのプロジェクトが合流し連動していくことになる。

堀口「登場するといっても当初は『EVOLVE 5』のCGデータを流用した、ゲスト的な扱いの登場だったのです。それがカトキさんが『EVOLVE 5』のνガンダムをベースに、GFT用として設定を描き起こしていただいて。増尾監督にこの話をもっていったら、『カッコイイね！』って私も増尾監督も気分がよくなっちゃった（笑）。『どうせなら、νガンダムもサザビーもメインの映像に登場させよう!』という方向へ、180度変わっていったんです。CGモデル部のスタッフがすごく頑張ってくれて、『EVOLVE 5』版のCGにカトキさんのデザインディテールを入れて調整し、ほぼ作り直しをして映像に送りだすことができました」

そうして完成したDOME-Gの映像には、瓦解していくアクシズをバックに、νガンダムとサザビーが激突する姿が描かれている。

カトキ「サイコフレームの発光現象は最近だとユニコーンガンダムで用いられていますが、νガンダムが元祖といえます。『EVOLVE 5』では光に包まれた宇宙が印象的したが、αアジールの方が主役っぽい扱いでした。今度、増尾監督がムービーにνガンダムを登場させるなら、装甲が割れたり、もっとはじけた演出になったりするのかな、等と考えて「通常モード」と「発動モード」をデザインしました。劇中ではコクピット周辺に配置されたサイコフレームですが、今回のVer.Kaでは四肢の構造にも取り入れることで見た目にも新たな解釈として表現しています。サイコフレームの発動時には、きっと装甲の隙間から光が漏れ出ることもあるのでしょう。一方でガンプラ的に考えると、本来のνガンダムらしさ、「逆シャア」らしいなるべくシンプルなνガンダムが好きな人もいるでしょうし、折角のMGならフレームを作り込んだEVOLVE的な仕上げを好む人もいるでしょう。そう考えていく内におのずと今回の様なギミックが導き出されていきました」

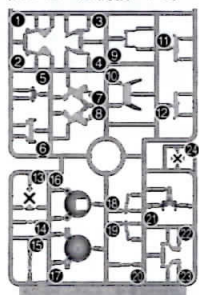
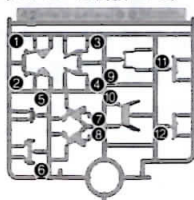
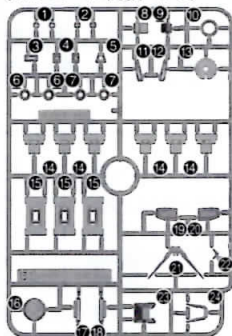
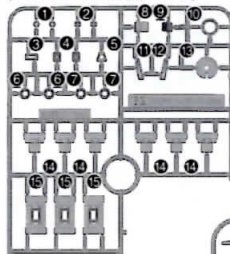
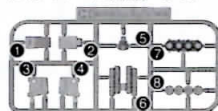
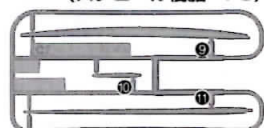
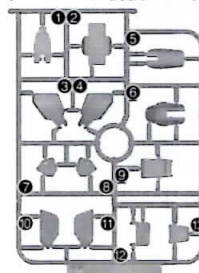
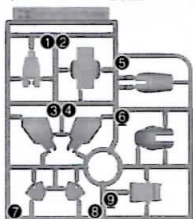
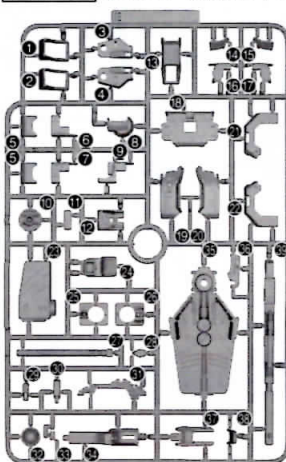
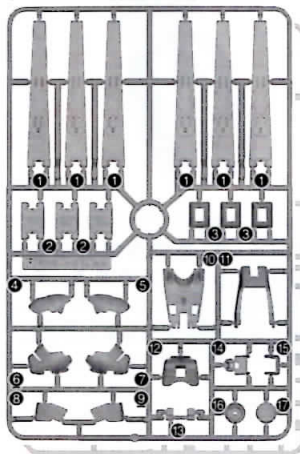
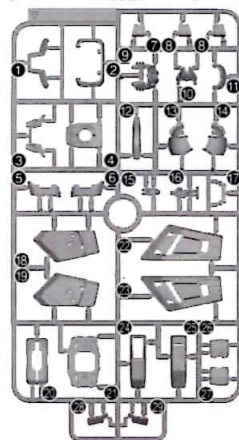
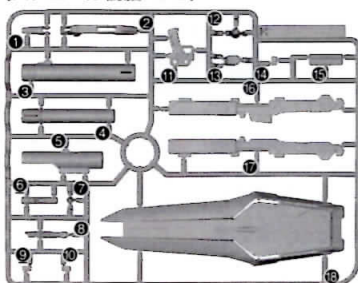
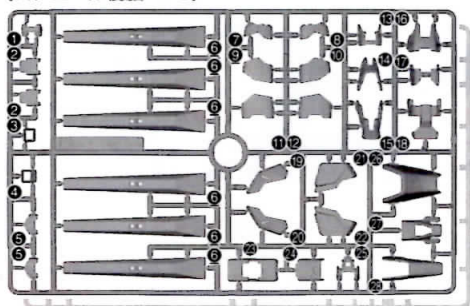
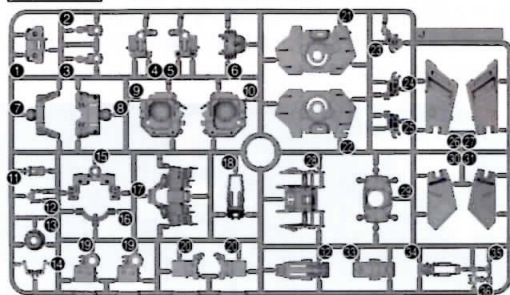
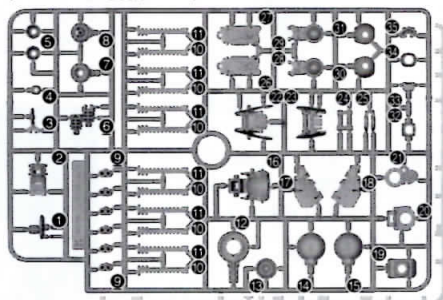
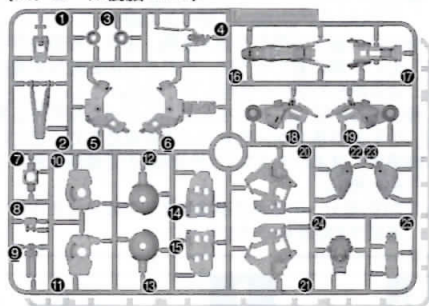
堀口「プラモデルとしてのウリのひとつが『装甲をスライドさせ、パージすることで内部のサイコフレームが見える』ことはうかがっていました。時間的制約もありましたが、連動する意味合いもあり、何かしらのフォローを映像のほうでもやるべきと増尾監督も判断されて、装甲の隙間からサイコフレームを光らせてみました。DOME-Gの映像は、トライアルの側面もありますが、GFTに来場された皆さんにたくさんのガンダムを紹介しようというコンセプトの元につくられています。登場するのも有名な機体や、現行で活躍中のMSといった既存の作品の中から選んでいます。その中で、このνガンダムは制作側にとって極めてオリジナルなMSに近い存在と言えます。作業は大変ではありましたが、このνガンダムのおかげで、楽しんで制作することができました」

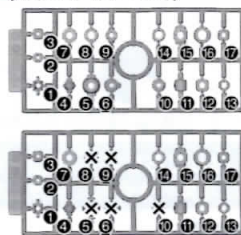
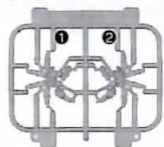
カトキ「"変身" のギミックを克服したユニコーンガンダムVer.Kaは、ガンプラの中でもひとつの節目でしたし、お台場の1/1 RX-78-2ガンダムの密度を1/144に凝縮する事からスタートしたRGシリーズも、最近のマイルストーンです。今回のνガンダムは、ユニコーンガンダムの構造にRGの精密さを盛り込む様な、丹念に仕込んでいく作業が必要でした。バンダイの開発スタッフの皆さんはMG、RGで越えたK点をさらに越えるような完成度を達成したと思います。GFT "DOME-G" の映像を観る人は 1/1 RX-78-2も同時に見ている訳です。これからのガンプラは、1/1の密度に触れたお客さんも満足できるアイテムを提供してゆけるようになるのだと思います」

ガンダムフロント東京 "DOME-G"

ガンダムワールドを体験・体感できる「ガンダムフロント東京」に、映像施設「DOME-G」がある。直径16m、6台のプロジェクターと13台のスピーカーが設置された特設巨大ドームで、迫力のガンダム映像を全身で体感することができる（2012年現在）。全天スクリーンには、歴代のガンダムが次々と登場してくるが、その中にGFT専用にデザインされたνガンダムとサザビーが登場する

パーツリスト （×印は使用しないパーツです。）

A1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

A2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

B1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

B2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

C1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

C2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

D1パーツ
（スチロール樹脂：PS）

D2パーツ
（スチロール樹脂：PS）

Eパーツ （スチロール樹脂：PS）

Fパーツ （×2）
（スチロール樹脂：PS）

Gパーツ
（スチロール樹脂：PS）

Hパーツ
（スチロール樹脂：PS）

Iパーツ （×2）
（スチロール樹脂：PS）

Jパーツ （スチロール樹脂：PS）

Kパーツ （×2）
（スチロール樹脂：PS）

Lパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)

Rパーツ (ABS樹脂：ABS)

MP1パーツ
(ABS樹脂：ABS)
(ポリプロピレン：PP)

MP1（エモーションマニピュレーター SP）は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は図解の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押さえながら、ゆっくり動かしてください。

PC-208パーツ (×2)
(ポリエチレン：PE)

Qパーツ
(スチロール樹脂：PS)

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール……………………………1枚
※カラーシールはのびやすいので、貼る際、はがす際は、ゆっくり慎重に行ってください。

水転写デカール……………………………1枚

シルバーシール……………………………1枚
※シルバーシールは切れやすいので、貼る際、はがす際は、ゆっくり慎重に行ってください。

〈お買い上げのお客様へ〉万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号／商品名／部品の記号／部品番号／数量を明記していただき、部品注文カード（部品注文カードのコピー、手書き可）、部品代＋送料の料金（100円単位を定額小為替、10円単位を切手）と共に封書にてお送りください（封書の裏に必ずお客様のお名前／ご住所／年齢をお書きください）。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

■申し込み先
〒420-8681　静岡県静岡市葵区長沼500-12
（株）バンダイ静岡相談センター　TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日
（祝日を除く）10:00～16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	MP1❶・MP1❷	Q❶	水転写デカール	シール類	その他
部品代	200円	各300円	200円	200円	各60円	各60円
郵送料	200円	120円	200円	80円	80円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0178604
1/100SCALE MGシリーズ
RX-93 νガンダム Ver.Ka
必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由（○で囲む）（こわした・なくした）
・日中ご連絡可能な電話番号　・年齢
（　　-　　-　　）（　　才）
R2167683　'12.12

2012.12/SA・ON　※コピー使用可

MG νガンダム Ver.Kaのカメラアイを発光させたい方は、こちらをお読みください。

必ず先にお読みください

LEDセット（グリーン）〈LEDライトユニット（グリーン）、J1❶、ビス各1個〉のご注文は右記の部品注文カードをご利用ください。申し込み方法等の詳細は、上記〈お買い上げのお客様へ〉をご参照ください。また、在庫がない場合には誠に申し訳ありませんがご注文をお返し致します。ただし、その際の発送に掛かった費用はお客様負担となりますので、予めご了承ください。LEDセットの通販は予告無く終了する場合があります。**上限3セットまでお受けできます。**（カメラアイを発光させる場合は、LEDセット（グリーン）が1セット必要です。）**WEBでもご注文を受付けております。**（通信費等はお客様のご負担となります。）
▶http://bandai-hobby.net/hobbyblog/news/partsorder/※**お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

《料金表》

個数	1セット	2セット	3セット
部品代	700円	1400円	2100円
郵送料	120円	120円	140円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0178604
1/100SCALE MGシリーズ
νガンダム Ver.Ka LEDセット（グリーン）
必要個数に○をつけてください
1セット　2セット　3セット
・日中ご連絡可能な電話番号　・年齢
（　　-　　-　　）（　　才）
R2167683　'12.12

2012.12/SA・ON　※コピー使用可

LEDセット（グリーン）は、店頭においてもご購入いただけます。（「ガンプラ用LEDユニット2個セット（緑）」メーカー希望小売り価格1,155円（税5%））。ご購入個数によっては店頭価格の方が低価格となります。商品は予告なく販売終了、価格変更する場合がありますので、詳細は販売店にお問い合わせください。

⚠ 注 意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接着をするところ

・シールの番号

・デカールの番号

・反対側に取り付けるパーツ

・両側に同じパーツを取り付ける

・向きに注意して取り付ける

・ビスの締めすぎに注意

・切り取るところ

・部品を数値の個数作ります

・先に組み立てます

・後に組み立てます

・数値に合わせて回転させます

・どちらかを選んで取り付ける

・反対側も同じように動かします

※この商品は変形を再現するため、部品点数が多くなっております。部品をきれいに切り取り、イラストをよく見て組み立ててください。また、ブロックごとに変形させて完成写真等を参考に組み上がりを確認することをおすすめします。

1 BODY

1-1 BODY 〔ボディの組立〕

D1⑫ J⑤ ※切り取らないように注意してください。

※奥までしっかりと、はめ込みます。 J⑯ J⑮ J④ (後に組む)

1-2

J⑦ 1-1 J⑧

1-3

G⑮ A1⑰ J⑪ J⑫ (後に組む) A1⑯ 1-2 A1⑲ A1⑱

〈裏から見た図〉

(シール) 8 7 (シール) A1⑲ A1⑱ (シール) 1 2 (シール)

1-4

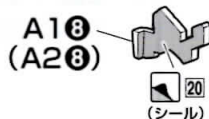
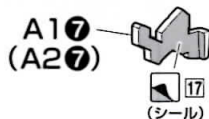
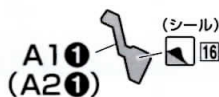
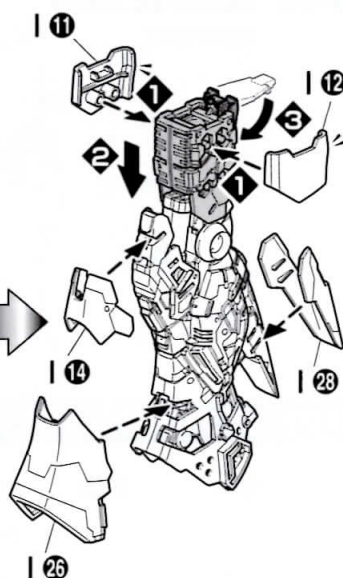
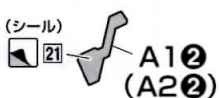
J⑨ 1-3 ❶ ❷ J⑰ J⑩ 前 G③ G② 前 ❶ ❷

※この部分を持って引っ張ってください。

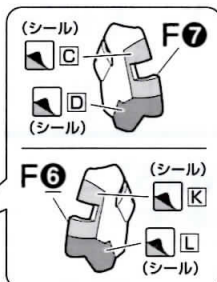
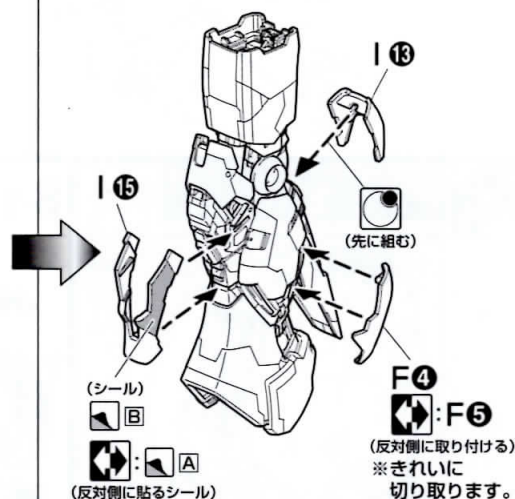
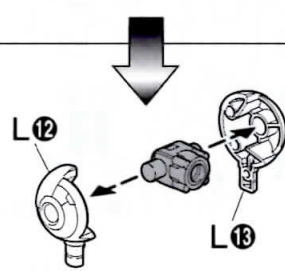
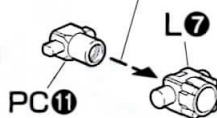
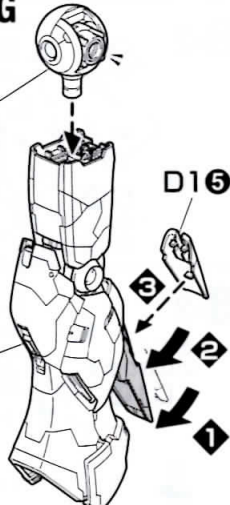
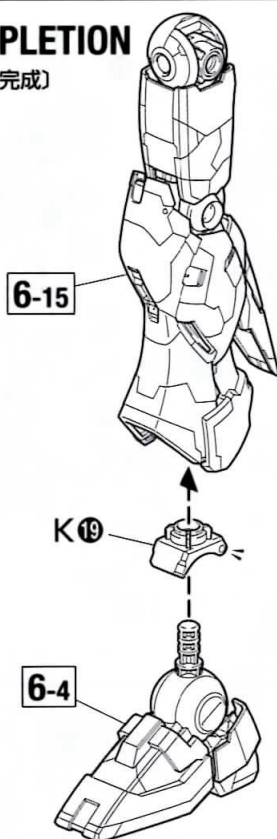
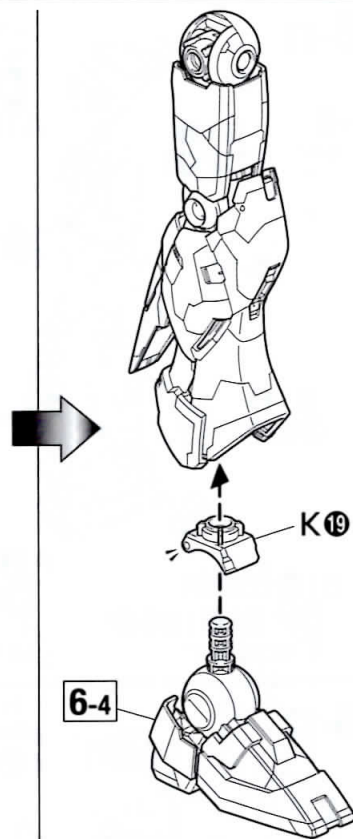
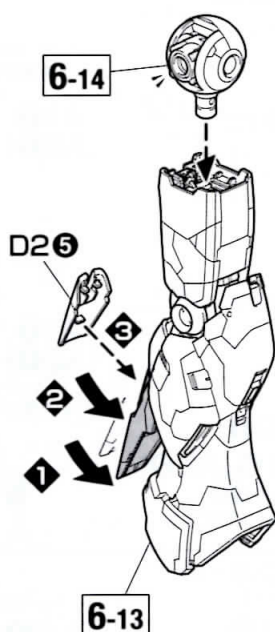
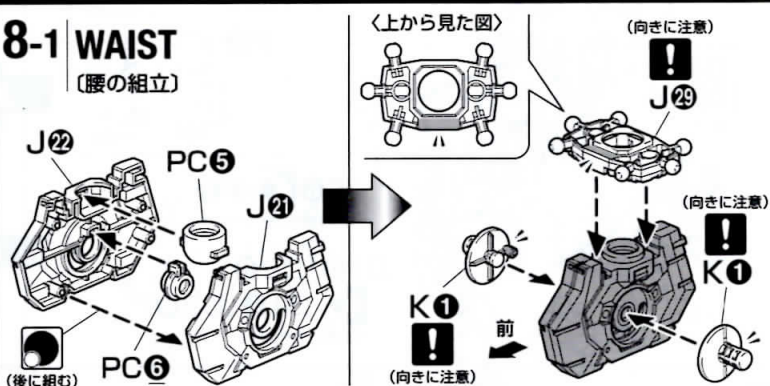
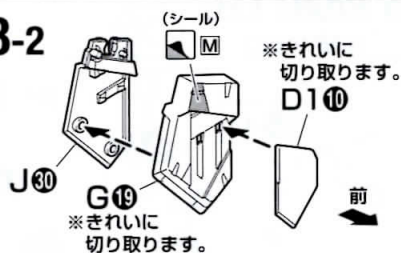
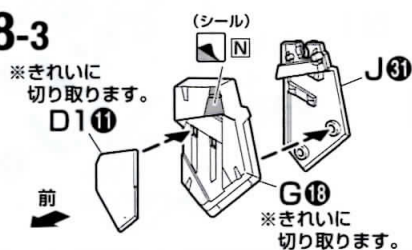
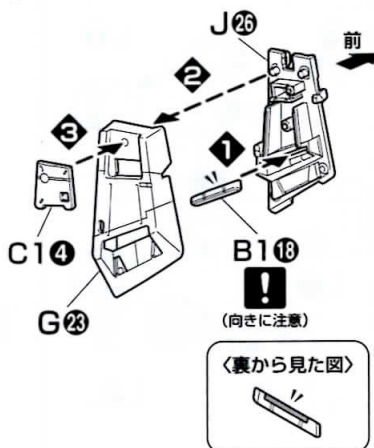
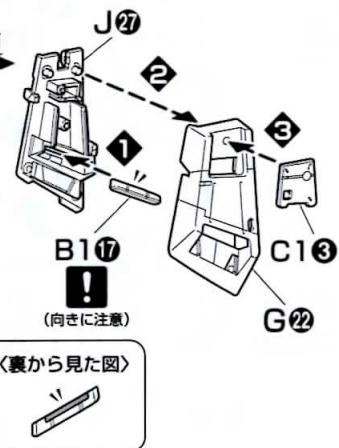
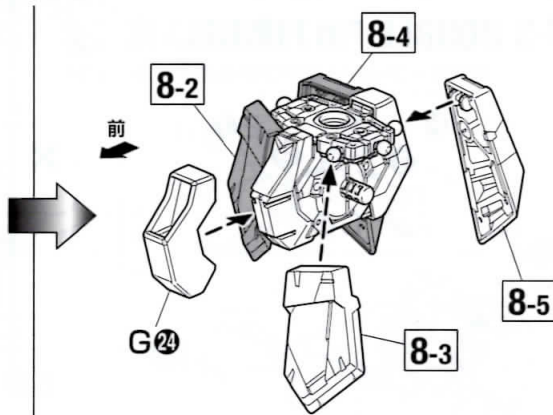
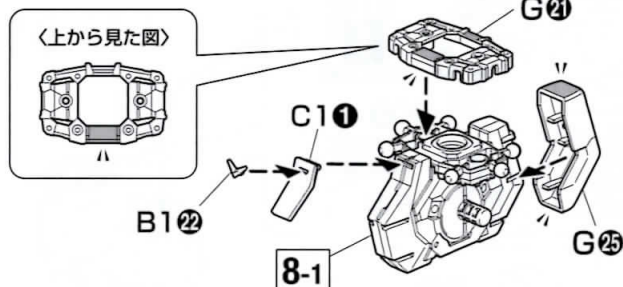
2 HEAD
MOBILE SUIT RX-93
ν GUNDAM
Ver.Ka
2-1 HEAD
〔頭の組立〕
〈後ろから見た図〉
R❾
※奥までしっかりと、
はめ込みます。
※きれいに
切り取ります。
A1㉑
R❾
(シール)
28
27
(シール)
※カメラアイを発光させる場合は
貼らないでください。
〈前から見た図〉
G⓱
G⓱
2-2
〈前から見た図〉
J❻
PC❾
PC❾
29
(シール)
2-3
〈後ろから見た図〉
C1❺
G❿
C1❺
2-4 COMPLETION
〔頭の完成〕
2-2
2-1
2-3
※きれいに
切り取ります。
〈横から見た図〉
G❾
G⓫
(向きに注意)
G⓭
G⓮
〈横から見た図〉
G⓭
G⓫
〈横から見た図〉
(向きに注意)
G⓬
B1㉑
B1㉔
E㉘
3 RIGHT ARM
4 LEFT ARM
3-1 ARM
〔腕の組立〕
×2
(2個作る)
※奥までしっかりと、
はめ込みます。
K㉜
PC❶
K㉛
K㉚
3-2
×2
(2個作る)
K㉑
PC❼
(向きに注意)
K㉕
〈横から見た図〉
K㉔
パチッ
3-3
×2
(2個作る)
PC❷
K㉝
※切り取らない
ように注意して
ください。
PC❸
〈横から見た図〉
K㉘
K㉙
(後に組む)
3-2
〈内側から見た図〉
前
前
(後に組む)
K㉖
PC❹
K㉗
K㉞
TRANSFORMATION SYSTEM | WEAPONS | BODY ASSEMBLE | BOTTOM | BACK PACK | WAIST | LEGS | UPPER BODY | ARMS | HEAD | BODY | PARTS LIST

6 RIGHT LEG
7 LEFT LEG
MOBILE SUIT RX-93
ν GUNDAM
Ver.Ka
6-1 LEG
〔脚の組立〕
×2
(2個作る)
〈横から見た図〉
K⑯
PC⑰
K⑯
K⑰
K⑱
向きをかえます。
(先に組む)
(向きに注意)
B1⑧
(B2⑧)
〈横から見た図〉
※切り取らない
ように注意して
ください。
F⑫
6-2
6-1
(先に組む)
×2
(2個作る)
F⑬
F⑩
※切り取らないように
注意してください。
F⑨
B1⑨
(B2⑨)
(シール)
H
F⑧
向きをかえます。
E
(反対側に貼るシール)
6-3
※きれいに
切り取ります。
前
F⑪
×2
(2個作る)
A1⑥
(A2⑥)
前
(シール)
24
前
(シール)
23
25
(シール)
(先に組む)
(シール)
I
6-2
F
(反対側に貼るシール)
I⑰ ※きれいに
切り取ります。
(反対側に貼るシール)
G
J
(シール)
K⑬
(向きに注意)
(B2⑩)
B1⑩
〈上から見た図〉
〈下から見た図〉
6-4
×2
(2個作る)
K⑭
K⑮
PC⑯
K⑫
I⑱
※きれいに
切り取ります。
6-3
6-5
×2
(2個作る)
L⑩
PC⑭
(後に組む)
L⑪
※奥までしっかりと、
はめ込みます。
PC⑫
J⑳
J⑲
PC⑬
L⑨
(向きに注意)
〈上から見た図〉
PARTS LIST
BODY
HEAD
ARMS
UPPER BODY
LEGS
WAIST
BACK PACK
BOTTOM
BODY ASSEMBLE
WEAPONS
TRANSFORMATION SYSTEM

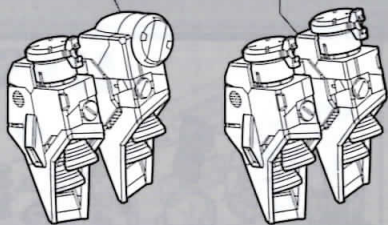
6-6
6-5
×2
(2個作る)
パチッ
L⑧
L⑭
L⑮
6-7
×2
(2個作る)
L①
L③
B1⑥
※きれいに
切り取ります。
L⑱
L⑤
6-8
(後に組む)
×2
(2個作る)
L㉔
L⑰
PC⑮
L⑳
L㉑
L⑥
L⑲
※奥まで
しっかりと、
はめ込みます。
6-6
6-7
※この状態でヒザを深く
曲げないでください。
6-9
×2
(2個作る)
L⑯
A1④
(A2④)
A1③
(A2③)
〈内側から見た図〉
18
(シール)
19
(シール)
A1⑤
(A2⑤)
22
(シール)
26
(シール)
※シール22・26は、1セット
予備です。
6-8
L㉕
パチッ
6-10
×2
(2個作る)
パチッ
L④
L②
L③
B2⑥
※きれいに
切り取ります。
6-9
L㉓
L㉒
前
〈横から見た図〉
前
TRANSFORMATION SYSTEM | WEAPONS | BODY ASSEMBLE | BOTTOM BACK PACK | WAIST | LEGS | UPPER BODY | ARMS | HEAD | BODY | PARTS LIST

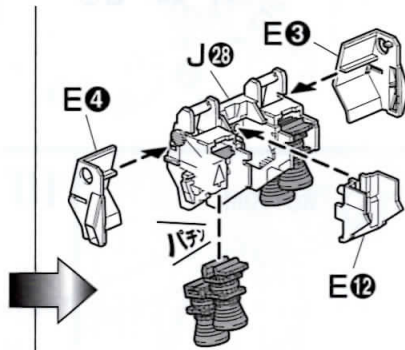
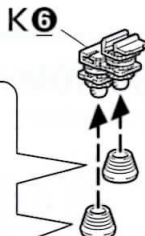
6-11
×2
(2個作る)
※きれいに切り取ります。
(反対側に取り付ける)
: A1⑧(A2⑧)
A1⑦(A2⑦)
パチン
D1❶
(D2❶)
6-10
B1❸
(B2❸)
B1⑪(B2⑪)
: B1⑫(B2⑫)
(反対側に取り付ける)
A1❶(A2❶)
: A1❷(A2❷)
(反対側に取り付ける)
※きれいに切り取ります。
〈内側から見た図〉
A1⑧
(A2⑧)
(シール)
20
A1⑦
(A2⑦)
17
A1❶
(A2❶)
16
A1❷
(A2❷)
21
I⑪
I⑫
I⑭
I㉘
I㉖
6-12
I⑩ : I⑨
D1❷
(D2❷)
6-11
F⑦
F⑥
C
D
K
L
F⑥ : F⑦
(反対側に取り付ける)
D1❸(D2❸)
: D1❹(D2❹)
I⑬
I⑮
(先に組む)
(シール)
B
: A
(反対側に貼るシール)
F❹
: F❺
※きれいに
切り取ります。
6-13
※きれいに
切り取ります。
: I⑦
I⑧
D1⑥
(D2⑥)
6-12
I⑯
6-14
※奥までしっかりと、
はめ込みます。
L⑦
PC⑪
L⑫
L⑬
6-15 RIGHT LEG
〔右脚の組立〕
6-14
D1❺
6-13
PARTS LIST | BODY | HEAD | ARMS | UPPER BODY | LEGS | WAIST | BACK PACK | BOTTOM | BODY ASSEMBLE | WEAPONS | TRANSFORMATION SYSTEM

6-16 COMPLETION
〔右脚の完成〕
6-15
K⑲
6-4
7 LEFT LEG
〔左脚の組立〕
6-14
D2⑤
6-13
K⑲
6-4
8 WAIST
8-1 WAIST
〔腰の組立〕
J㉒
PC⑤
J㉑
(後に組む)
PC⑥
〈上から見た図〉
(向きに注意)
J㉙
K❶
K❶
前
8-2
(シール)
M
※きれいに
切り取ります。
D1⑩
J㉚
G⑲
※きれいに
切り取ります。
前
8-3
(シール)
N
※きれいに
切り取ります。
D1⑪
J㉛
G⑱
※きれいに
切り取ります。
前
8-4
J㉖
前
C1④
B1⑱
(向きに注意)
G㉓
〈裏から見た図〉
8-5
J㉗
前
B1⑰
C1③
(向きに注意)
G㉒
〈裏から見た図〉
TRANSFORMATION SYSTEM | WEAPONS | BODY ASSEMBLE | BOTTOM | BACK PACK | WAIST | LEGS | UPPER BODY | ARMS | HEAD | BODY | PARTS LIST

8-6 COMPLETION
〔腰の完成〕

(向きに注意)
G㉑
〈上から見た図〉
C1❶
B1㉒
G㉕
8-1
8-2
8-4
前
8-5
G㉔
8-3

※バックパックは、ノーマル型とダブル・フィン・ファンネル型のどちらかを選択して組み立てる仕様です。

9 BACK PACK (NORMAL / DOUBLE FIN FUNNEL)

MOBILE SUIT RX-93
ν GUNDAM Ver.Ka

9-1 BACK PACK
〔バックパックの組立〕

×2 (2個作る)
K❻
×4 (4個作る)
K❺
(B2❼)
B1❼
※きれいに切り取ります。
J㉘
E❸
E❹
パチッ
E⓬

※ダブル・フィン・ファンネル型を組み立てる方は18ページ 9-3 へ進んでください。

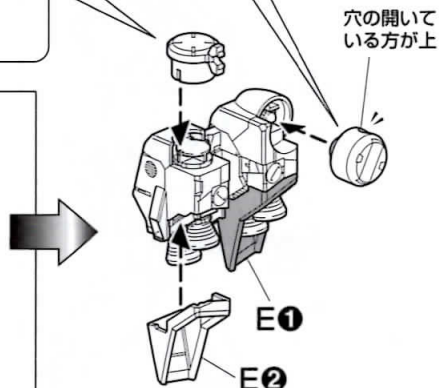
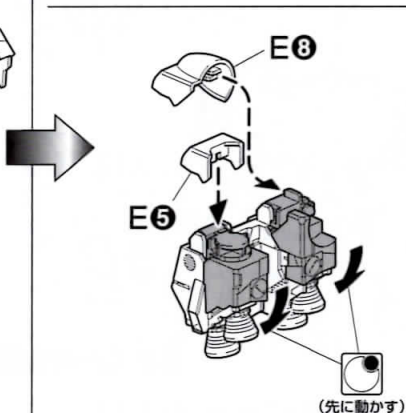
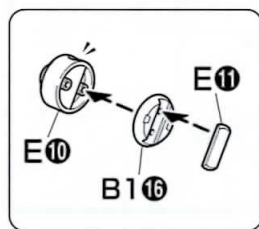
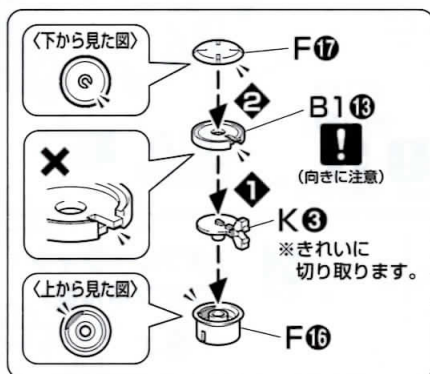
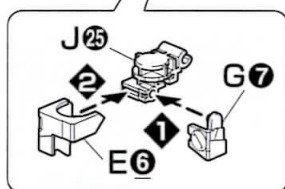
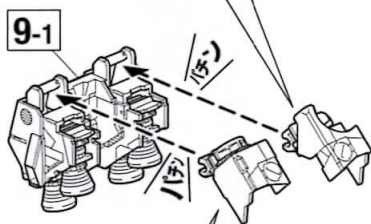
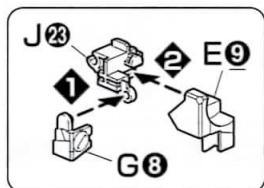
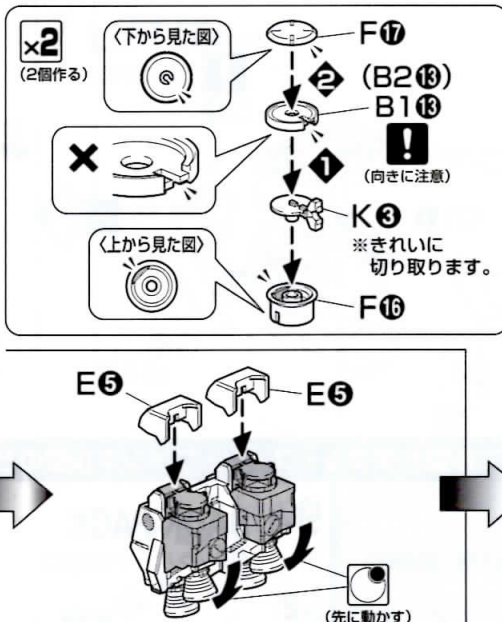
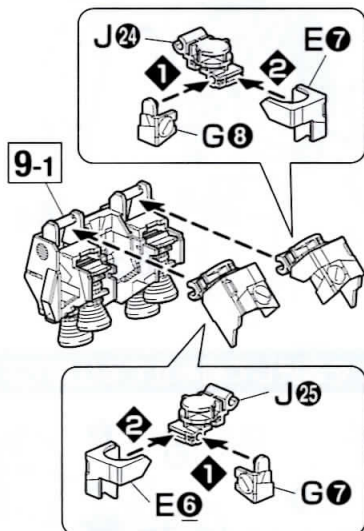
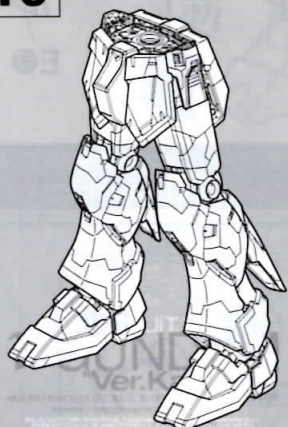
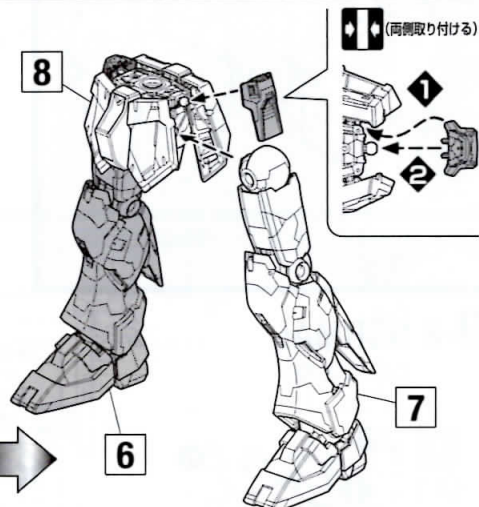
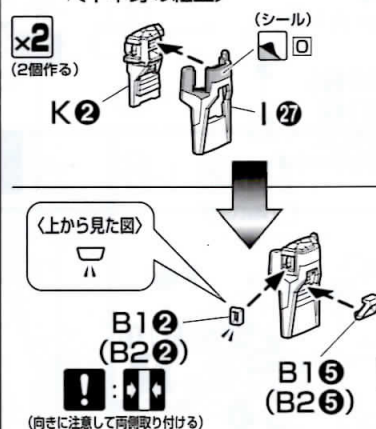
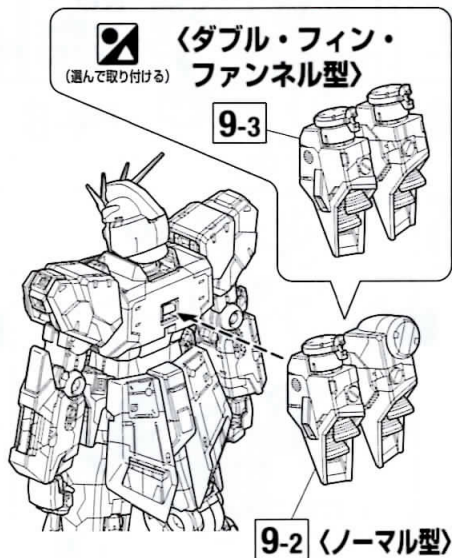
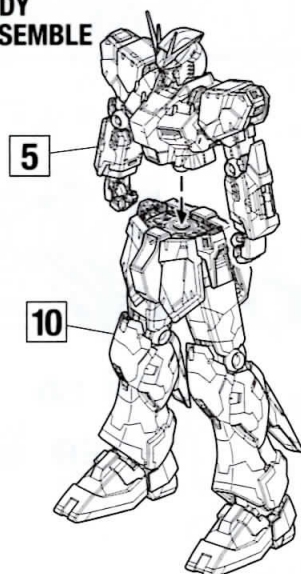
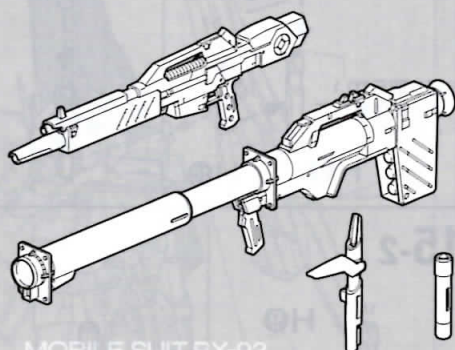
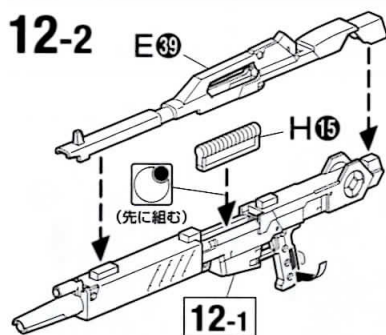
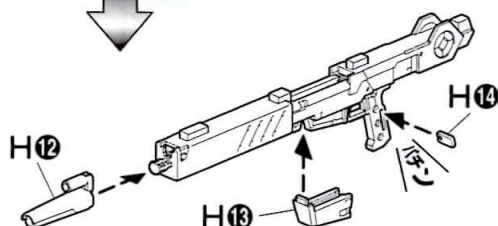
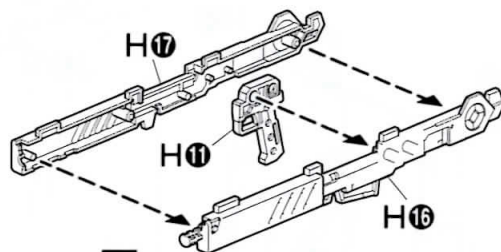
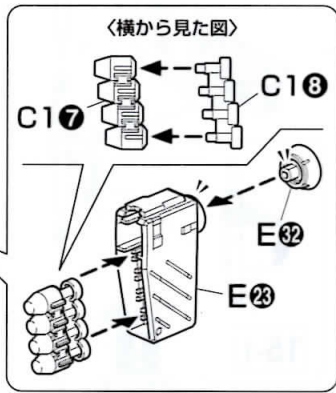
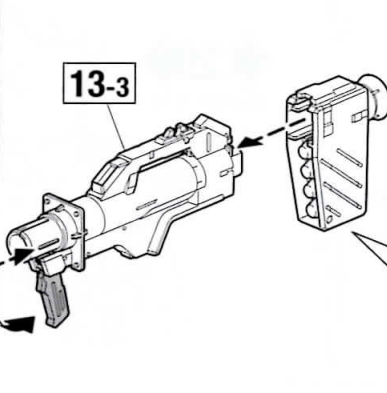
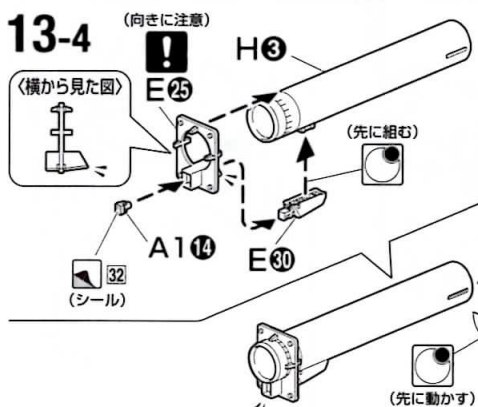
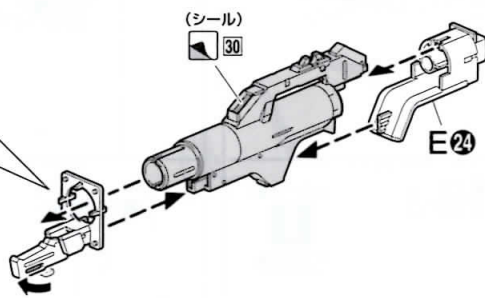
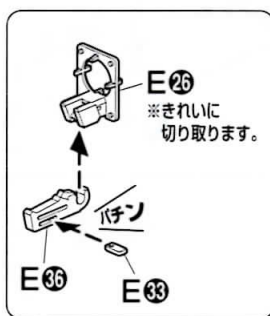
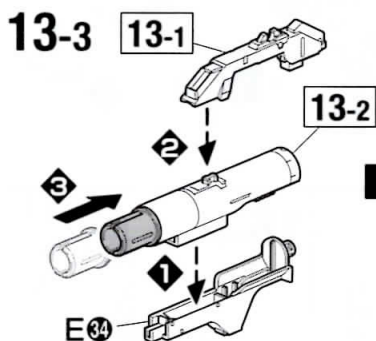
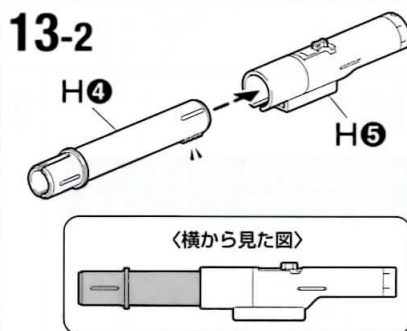
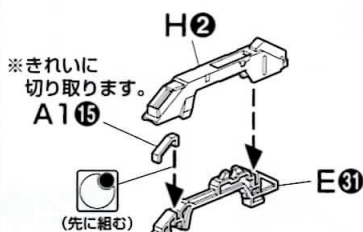
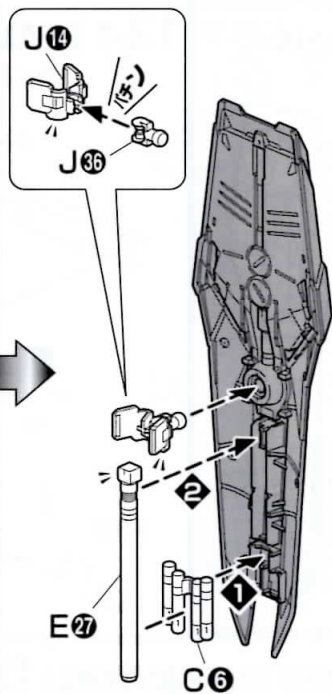
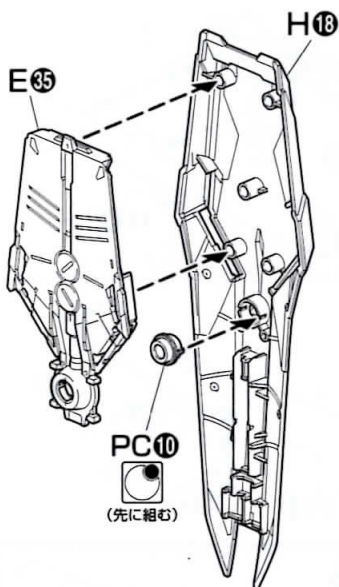
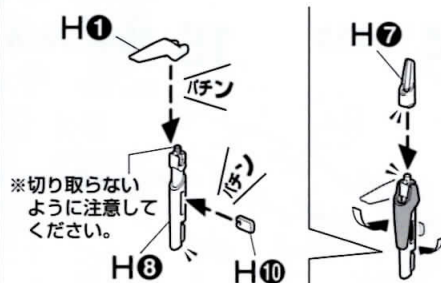
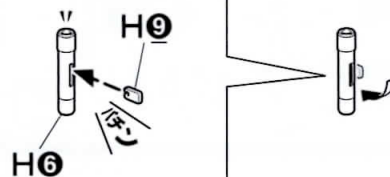
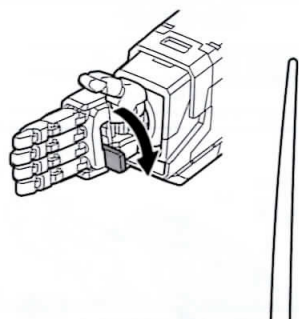
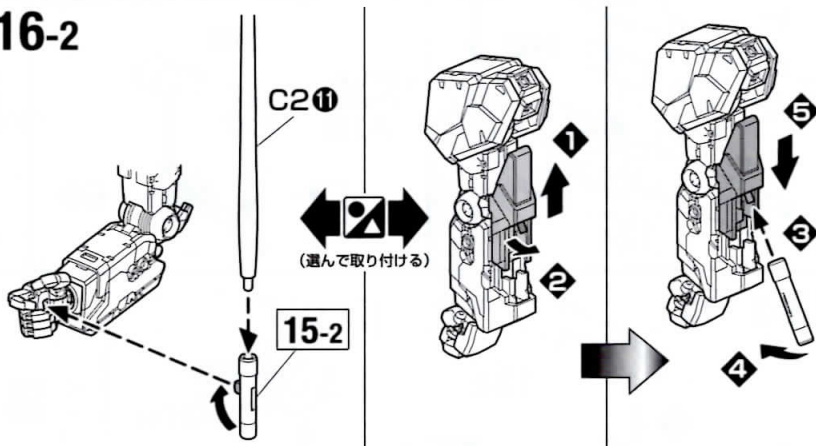
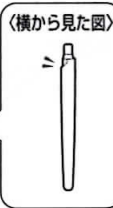
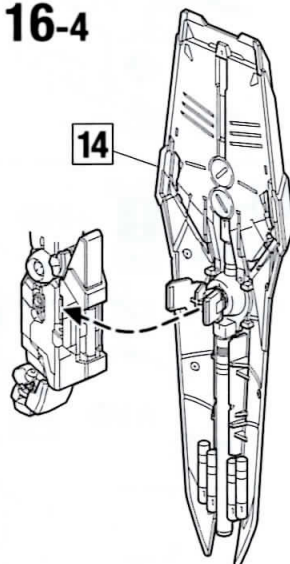
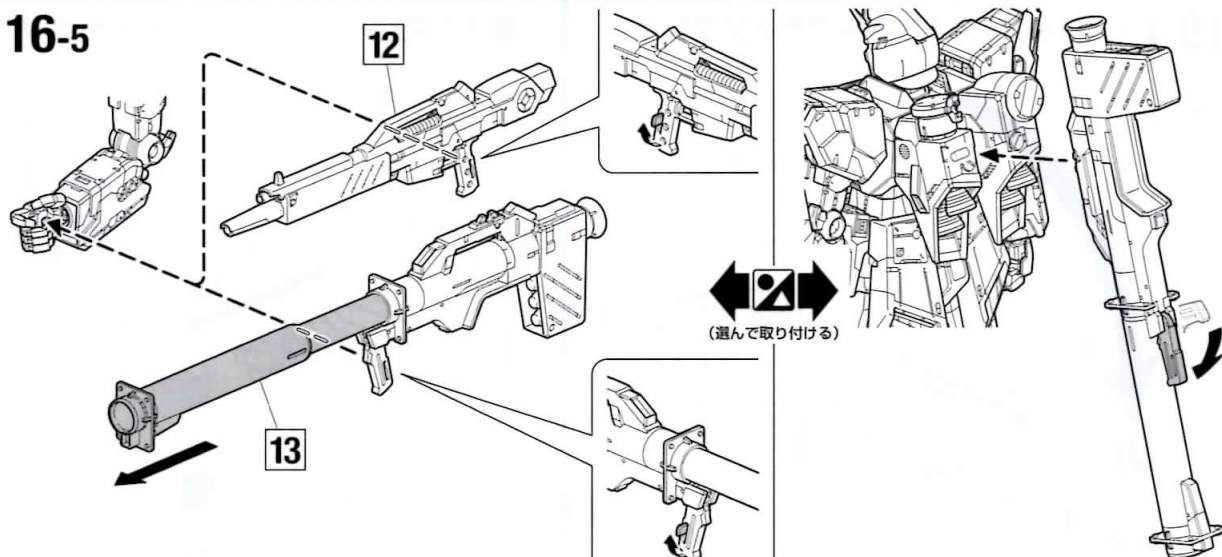
9-2 NORMAL
〔ノーマル型〕

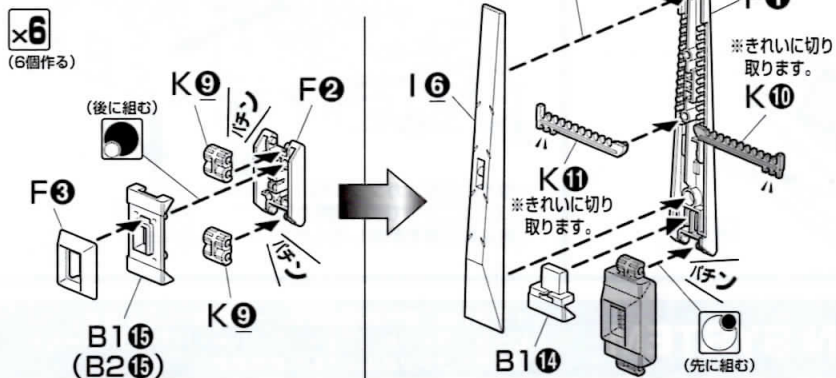
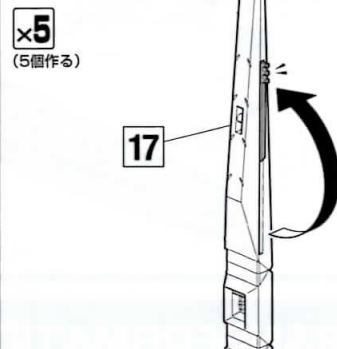
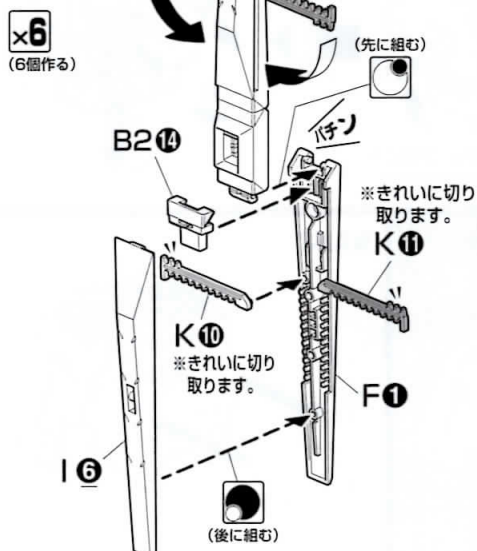
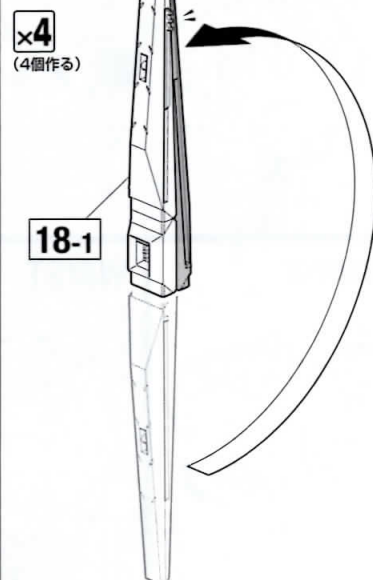
J㉓
❷ E❾
❶
G❽
9-1
パチッ
パチッ
J㉕
❷
G❼
❶
E❻

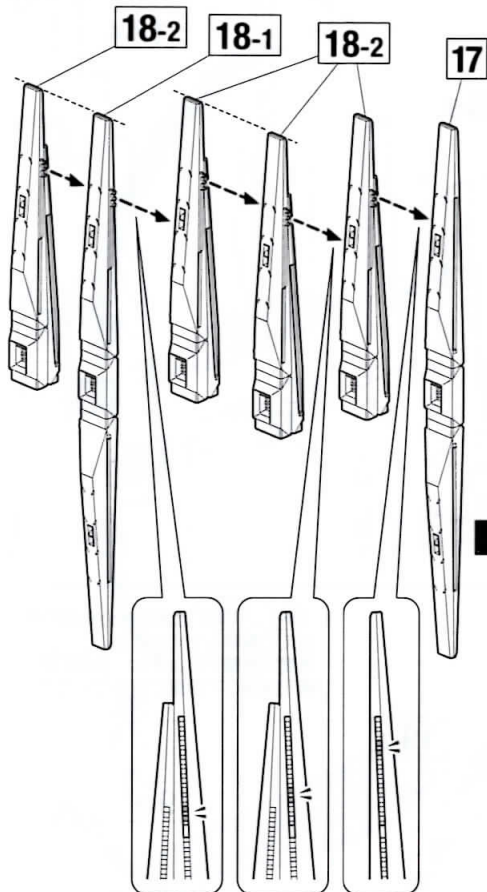
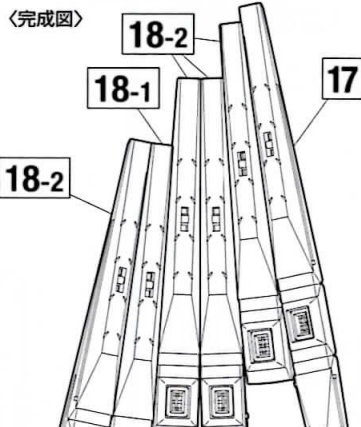
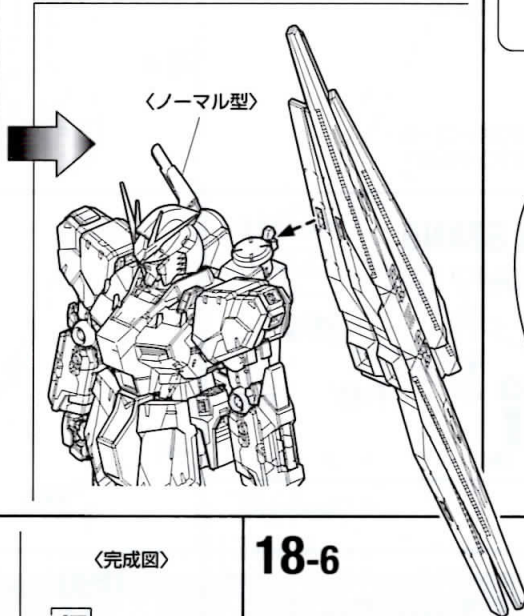
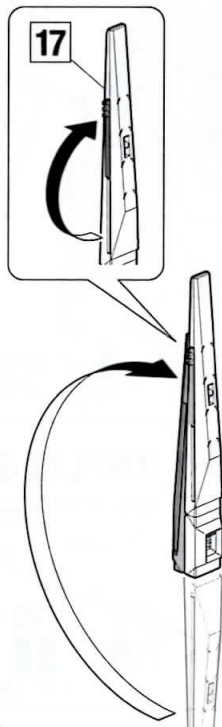
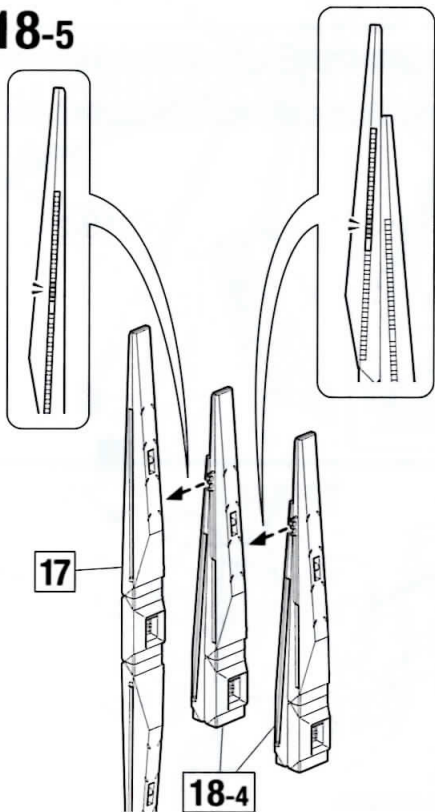
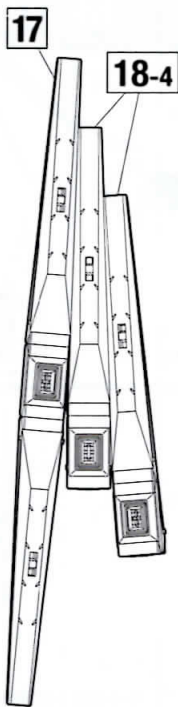
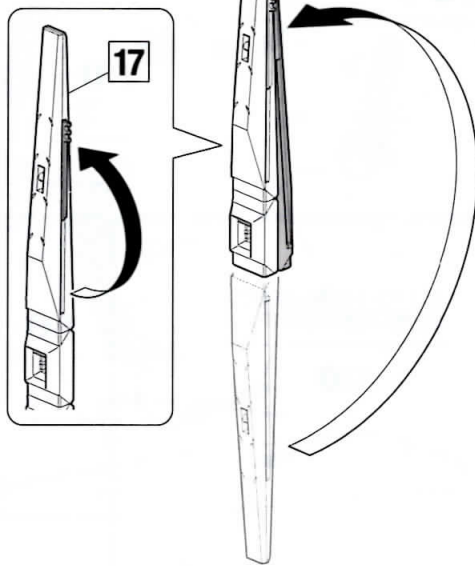
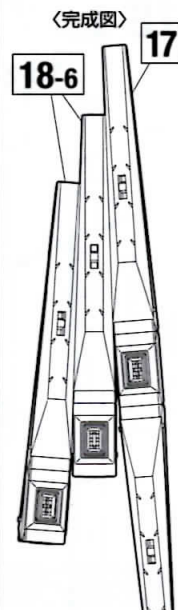
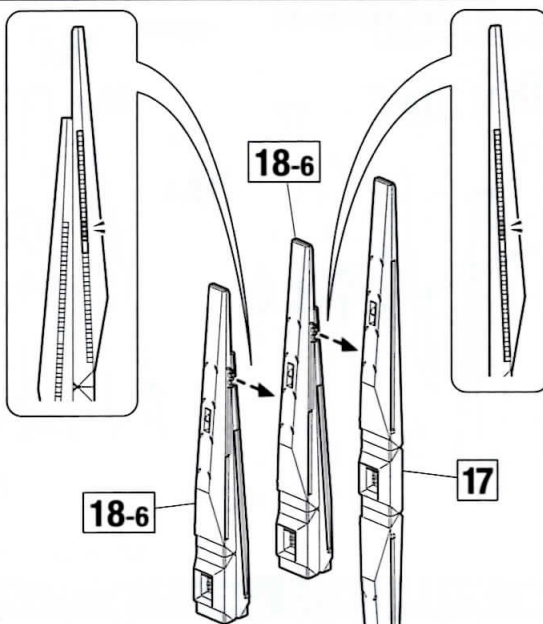
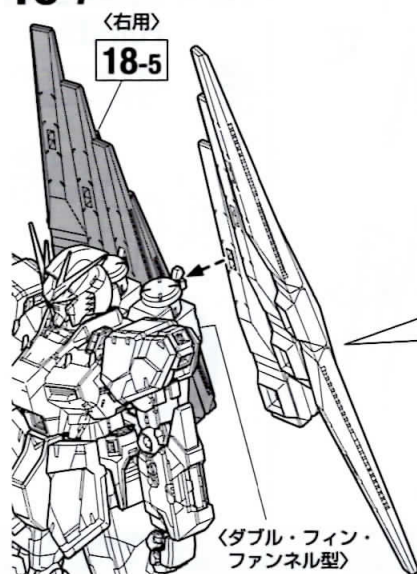
〈下から見た図〉
F⓱
❷
B1⓭
(向きに注意)
❶
K❸
※きれいに切り取ります。
〈上から見た図〉
F⓰

E⓫
E❿
B1⓰

穴の開いている方が上

E❽
E❺
(先に動かす)
E❶
E❷

9-3 DOUBLE FIN FUNNEL
〔ダブル・フィン・ファンネル型〕
J㉔
E❼
G❽
9-1
J㉕
E❻
G❼
×2
(2個作る)
〈下から見た図〉
F⓱
(B2⓭)
B1⓭
(向きに注意)
K❸
※きれいに
切り取ります。
〈上から見た図〉
F⓰
E❺
E❺
(先に動かす)
E❶
E❷
10 BOTTOM
10 BOTTOM
〔下半身の組立〕
×2
(2個作る)
(シール)
O
K❷
I㉗
〈上から見た図〉
B1❷
(B2❷)
B1❺
(B2❺)
(向きに注意して両側取り付ける)
8
(両側取り付ける)
6
7
11 BODY ASSEMBLE
5
10
(選んで取り付ける)
〈ダブル・フィン・
ファンネル型〉
9-3
9-2 〈ノーマル型〉
※G⓰は好きなところに飾ってください。
〈コクピットハッチの開け方〉
〈コクピットブロックの展開〉
※この部分を
指で押さえ
ながら引き
上げます。
TRANSFORMATION SYSTEM WEAPONS BODY ASSEMBLE BOTTOM BACK PACK WAIST LEGS UPPER BODY ARMS HEAD BODY PARTS LIST

14 SHIELD
〔シールドの組立〕
H⑱
E㉟
PC⑩
(先に組む)
J⑭
パチン
J㊱
❷
❶
E㉗
C❻
15-1 BEAM SABER
〔ビーム・サーベルの組立〕
H❶
パチン
※切り取らないように注意してください。
パチン
H❽
H❿
H❼
15-2
H❾
パチン
H❻
16-1
※各種武器を手に持たせるときは、必ずこの作業を行ってください。
16-2
C2⑪
15-2
(選んで取り付ける)
❶
❷
❺
❸
❹
16-3
(向きに注意)
C2❾
〈横から見た図〉
15-1
C2❿
(向きに注意)
〈横から見た図〉
(選んで取り付ける)
16-4
14
TRANSFORMATION SYSTEM WEAPONS BODY ASSEMBLE BOTTOM BACK PACK WAIST LEGS UPPER BODY ARMS HEAD BODY PARTS LIST

16-5

※フィン・ファンネルは、ノーマル型とダブル・フィン・ファンネル型のどちらかを選択して組み立てる仕様です。

17-1 FIN FUNNEL
〔フィン・ファンネルの組立〕

18-1 NORMAL
〔ノーマル型〕

17-2

※ダブル・フィン・ファンネル型を組み立てる方は22ページ 18-4 へ進んでください。

18-2

18-7
〈右用〉
18-5
〈ダブル・フィン・
ファンネル型〉
18-6
18-6
17
〈完成図〉
18-6
17
19-1 DISPLAY STAND
〔ディスプレイスタンド〕
×3
(3個作る)
〈横から見た図〉
R❹
R❻
R❸
R❷
(向きに注意)
19-2 ×3 (3個作る)
〈横から見た図〉
R❸
R❼
R❹
(向きに注意)
R❷
19-3
R❶
※ジョイントは差しかえて
2段階に調整できます。
R❺
Q❶
※19-1、19-2はお好みの角度に差し
替えて調整してください。
角度を調整するときは、各関節部の
根元を持って慎重に行ってください。
19-1
19-2
19-1
19-2
※19-1、19-2は
好きな箇所に取り
付けてください。
※イラストは説明のため、
バックパックを取り外しています。
PARTS LIST
BODY
HEAD
ARMS
UPPER BODY
LEGS
WAIST
BACK PACK
BOTTOM
BODY ASSEMBLE
WEAPONS
TRANSFORMATION SYSTEM

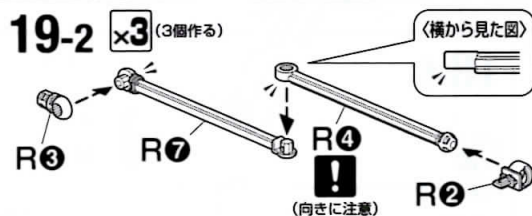
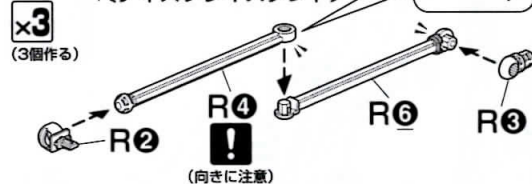
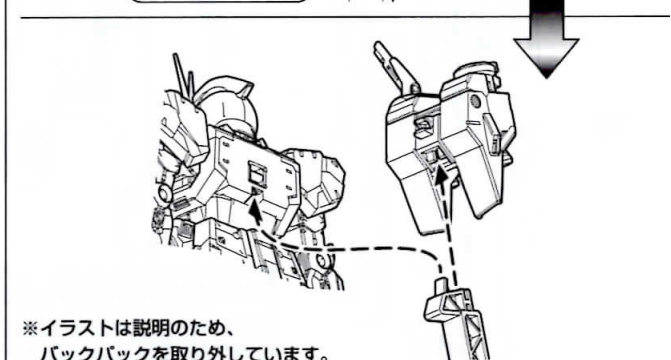
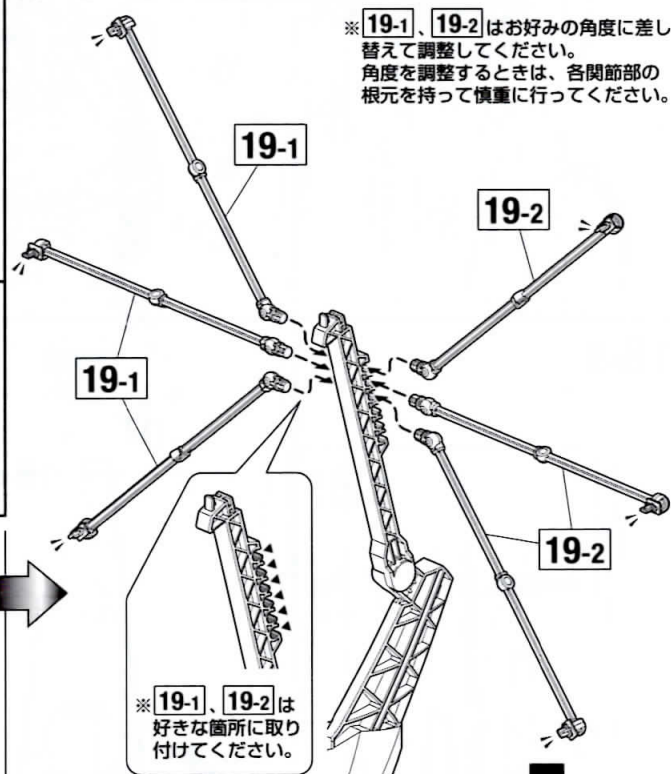
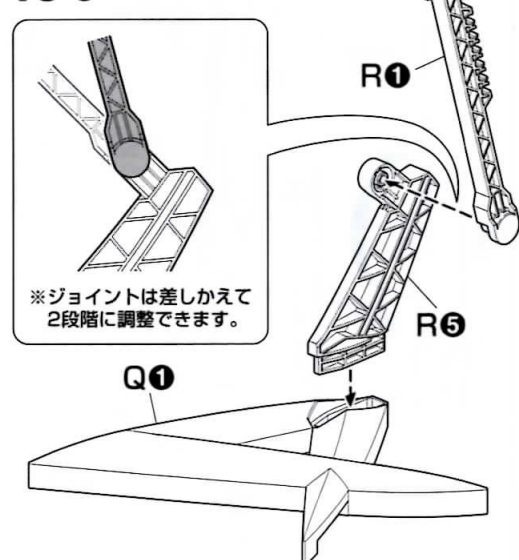
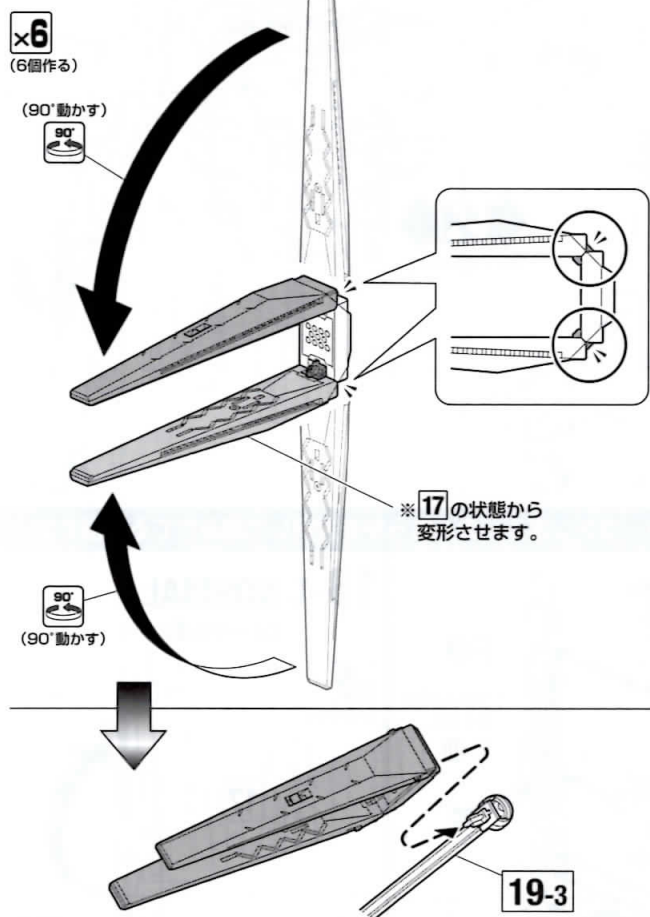
19-4 〈フィン・ファンネルのディスプレイ〉

×6
(6個作る)

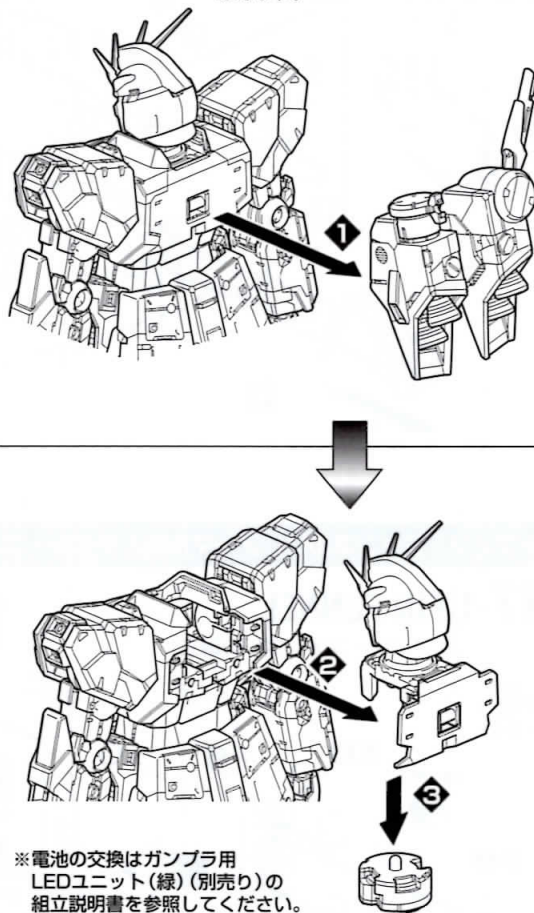
(90°動かす)

※17の状態から
変形させます。

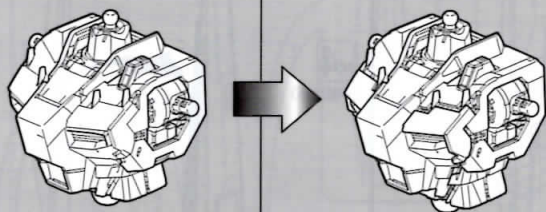
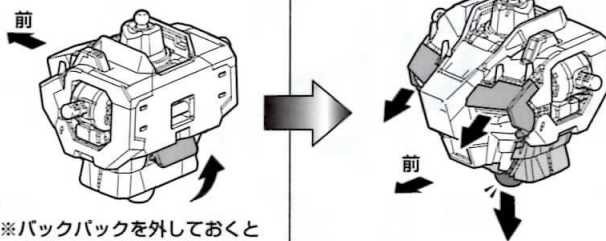
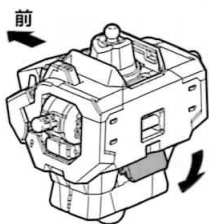
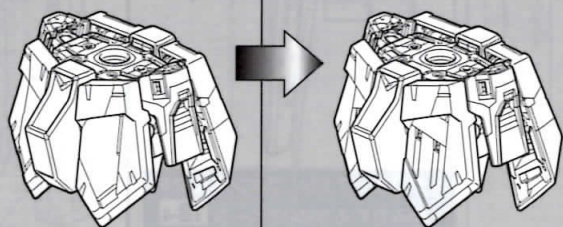
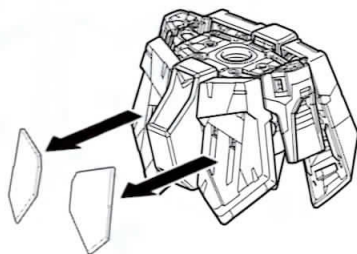
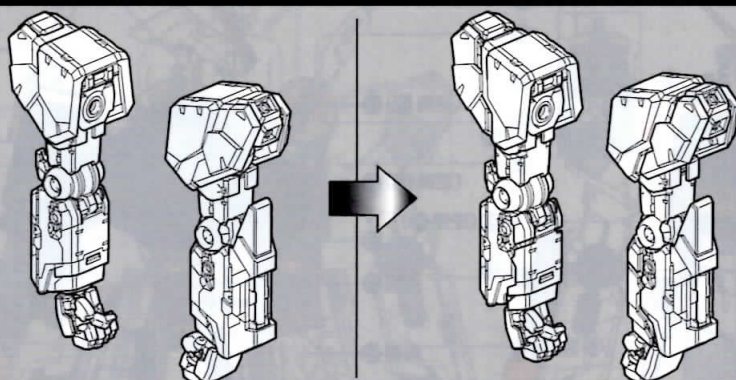
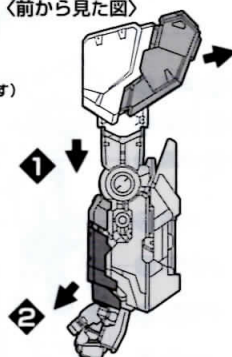
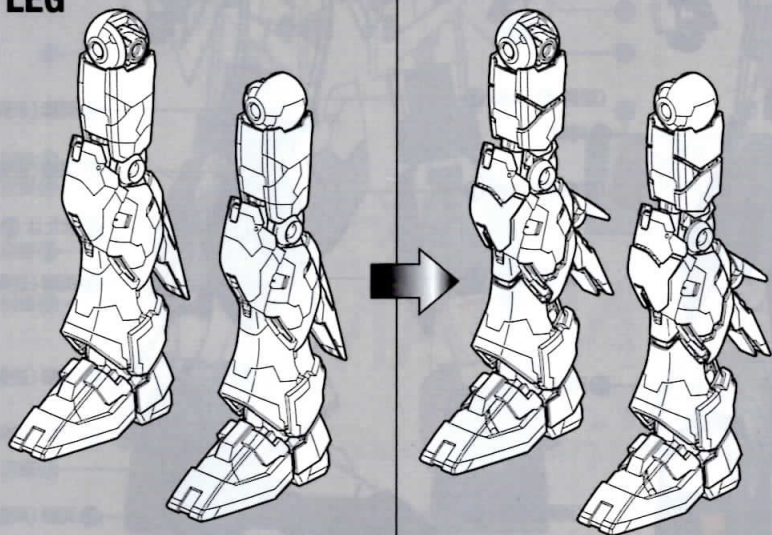
(90°動かす)

19-3

〈電池の交換〉 ※ディスプレイスタンドから取り外しておきます。

❶ ❷ ❸

※電池の交換はガンプラ用LEDユニット(緑)(別売り)の組立説明書を参照してください。

TRANSFORMATION SYSTEM

※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。
※ビーム・ライフル、ニュー・ハイパー・バズーカ、シールド、フィン・ファンネルは外しておきます。

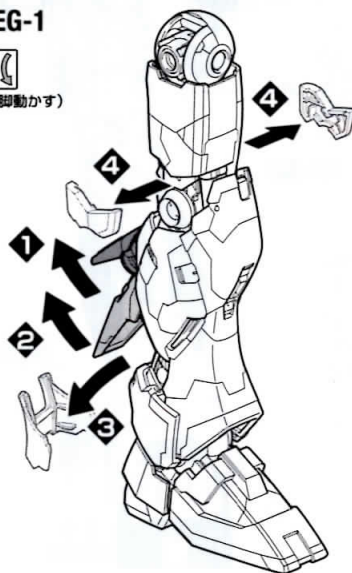
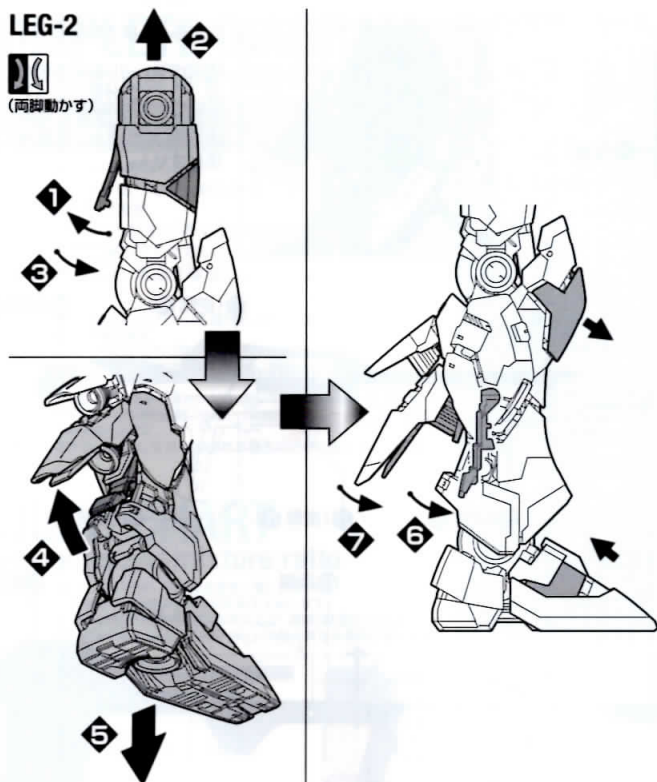
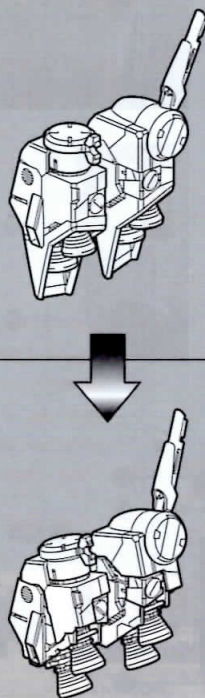
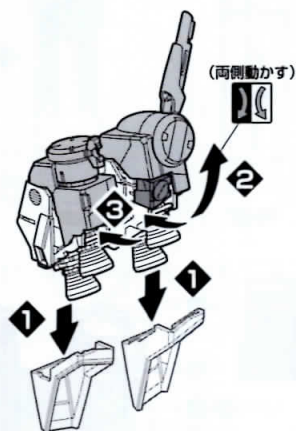
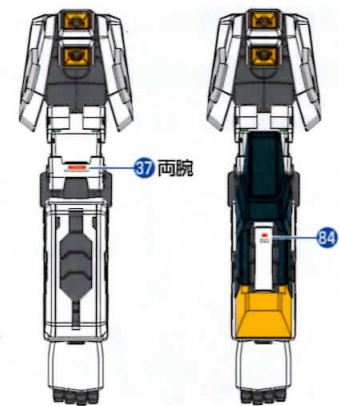
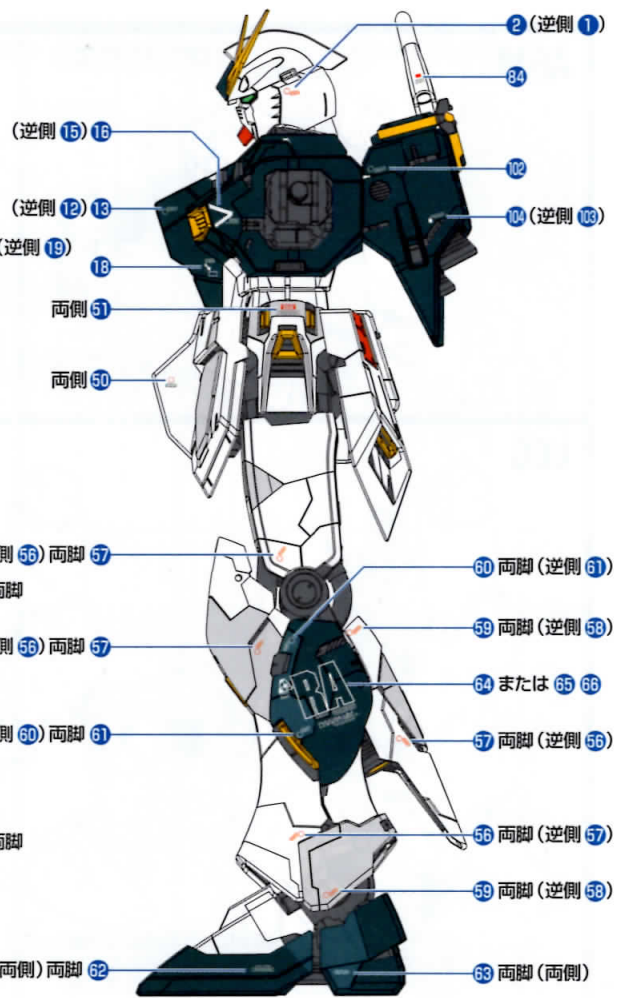
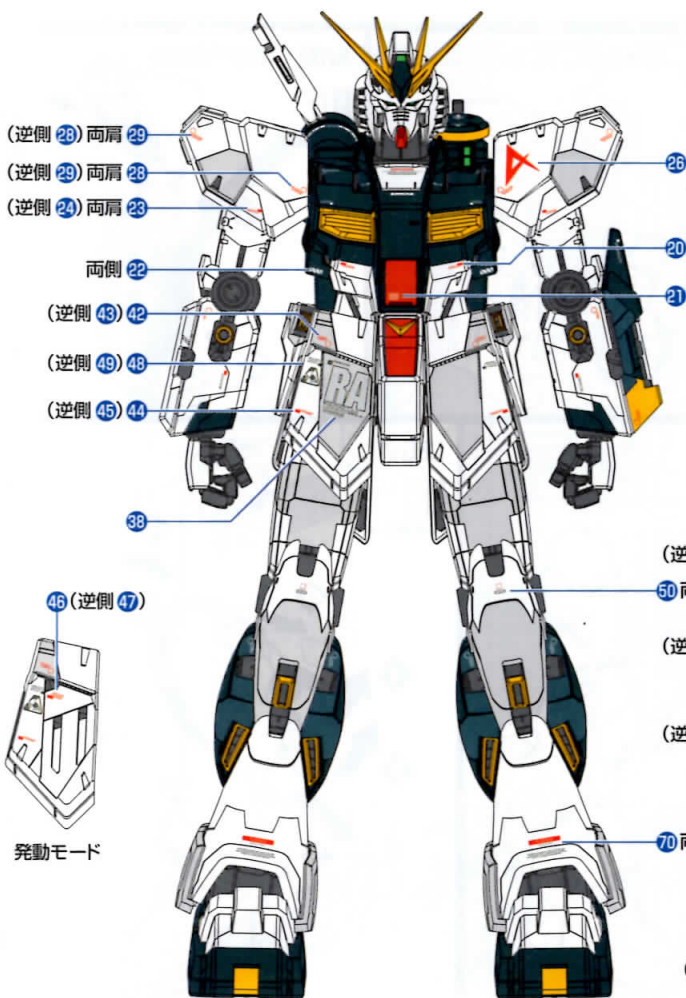
BODY

BODY-1

前

※バックパックを外しておくと
変形の難易度が下がります。

前

BODY-2

WAIST

WAIST

(逆側 28) 両肩 29
(逆側 29) 両肩 28
(逆側 24) 両肩 23
両側 22
(逆側 43) 42
(逆側 49) 48
(逆側 45) 44
38
26
20 (逆側 19)
21
50 両脚
70 両脚
46 (逆側 47)
発動モード
2 (逆側 1)
84
(逆側 15) 16
102
(逆側 12) 13
104 (逆側 103)
18
両側 51
両側 50
(逆側 56) 両脚 57
60 両脚 (逆側 61)
(逆側 56) 両脚 57
59 両脚 (逆側 58)
64 または 65 66
(逆側 60) 両脚 61
57 両脚 (逆側 56)
56 両脚 (逆側 57)
59 両脚 (逆側 58)
(両側) 両脚 62
63 両脚 (両側)
37 両腕
84
14 両側
36 両腕
25 両腕
左脚ふくらはぎ発動モード
64のデカールを貼る場合は、パーツの分割に沿って、デザインナイフ等で切れ込みを入れると、可動を妨げません。
79
73 (逆側 74)
80 (逆側 81)
71 (逆側 72)
77 (逆側 78)
75 (逆側 76)
ダブル・フィン・ファンネル時
94
99
93
97
(逆側 4) 3
27 両肩
(逆側 6) 5
(逆側 10) 9
(逆側 8) 7
17
11
85 両側
91 両側
88
82 (逆側 83)
86 (逆側 87)
89 (逆側 90)

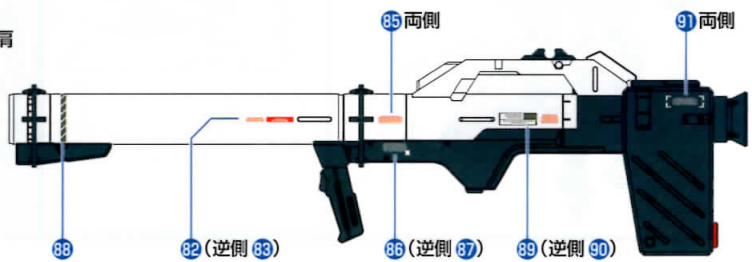
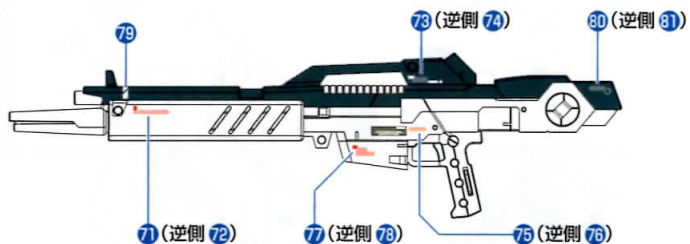
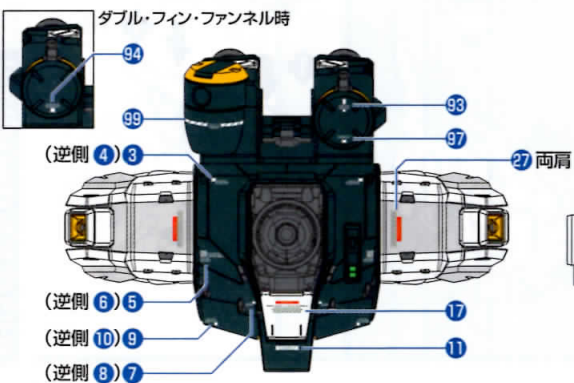
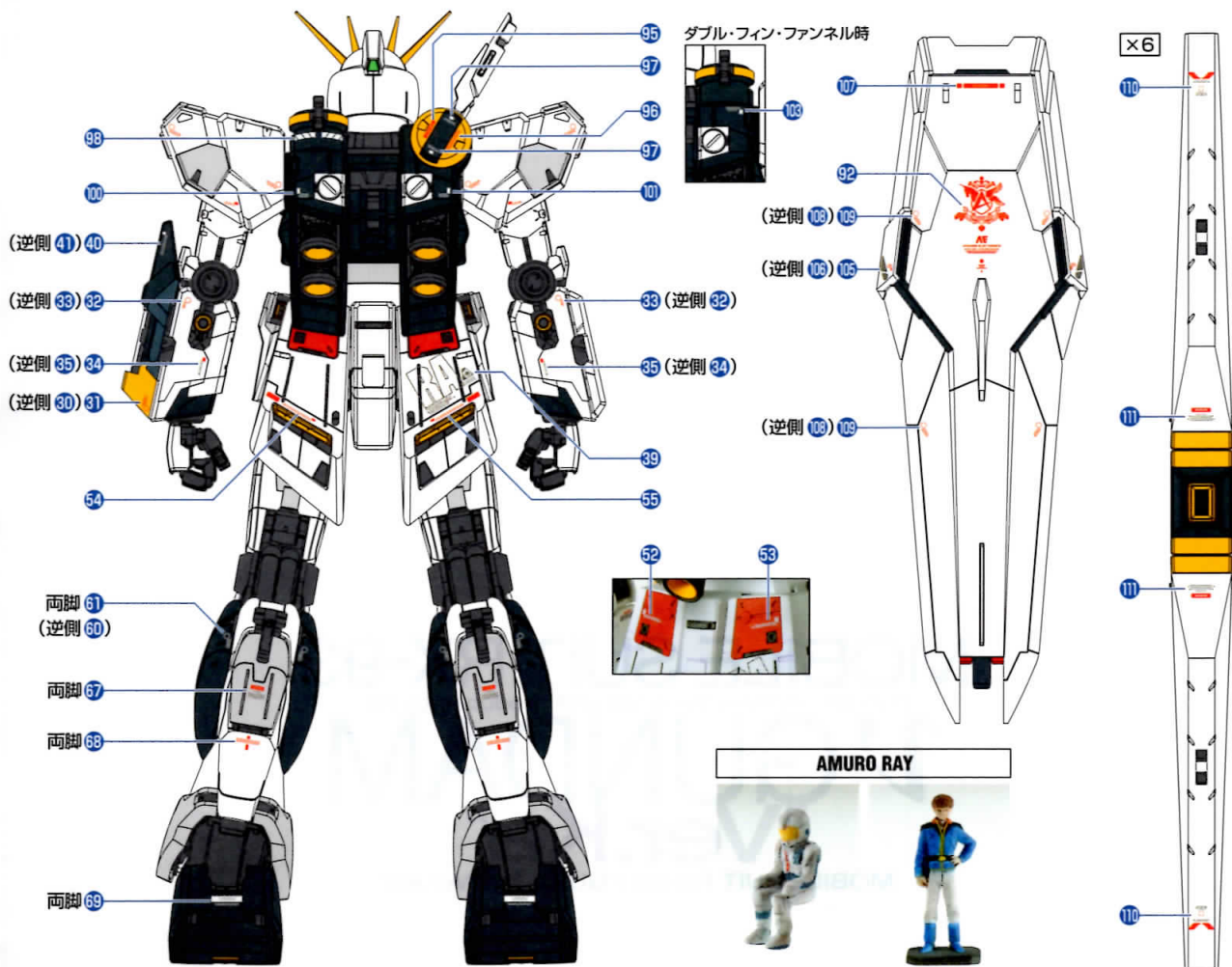
98
100
(逆側41)40
(逆側33)32
(逆側35)34
(逆側30)31
54
両脚61
(逆側60)
両脚67
両脚68
両脚69
95
97
96
97
101
33(逆側32)
35(逆側34)
39
55

ダブル・フィン・ファンネル時
103

107
92
(逆側108)109
(逆側106)105
(逆側108)109

×6
110
111
111
110

52
53

AMURO RAY

COMPLETE DIAGRAM
for painting and applying decals

この水転写式デカールはプラモデルオリジナルのものです。
貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

■水転写式デカールのはりかた

1. 使うデカールを切り取り、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。
2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。かわくまでは、手を触れないでください。

※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
※余ったデカールは好きなところに貼ってください。
※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は、別にご用意ください。
※水転写式デカールがモールドをまたいだり、乾いてはがれる箇所につきましては、マークソフター(専用の溶剤)やマークセッター(それぞれ別売り)を使用することで対応できます。
※可動部などはデカールがこすれてはがれる場合がございますのでご注意ください。

■水転写式デカール 1〜111

COLOR CHART
used paints and mixture ratio

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
※ABS樹脂への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

νガンダム

【頭部などの塗装色】
ホワイト(100%)

【膝などの塗装色】
ホワイト(95%)+グレー(5%)

【胸部などの塗装色】
インディブルー(45%)+ブラック(25%)+ホワイト(15%)+レッド(15%)

【ふくらはぎ前面などの塗装色】
インディブルー(45%)+ホワイト(25%)+ブラック(20%)+レッド(10%)

【アンテナなどの塗装色】
イエロー(80%)+ホワイト(10%)+オレンジイエロー(10%)

【コクピットハッチなどの塗装色】
レッド(50%)+モンザレッド(50%)+ホワイト少量

【関節などの塗装色】
グレー(90%)+ブラック(10%)

アムロ・レイ

【パイロットスーツ・ホワイト部の塗装色】
ホワイト(100%)

【パイロットスーツ・レッド部の塗装色】
モンザレッド(100%)

【肌の塗装色】
薄茶色(60%)+ホワイト(40%)

【髪の塗装色】
ウッドブラウン(90%)+レッドブラウン(10%)

【上着の塗装色】
インディブルー(90%)+ホワイト(10%)

MOBILE SUIT RX-93 ν GUNDAM"Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : KAMEYAMA ATSUSHI(GUNDAM A)
Edition/writing : MITARAI KOJI
Design : SAITO DAISUKE
Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI(JAM)
Special thanks : HORIGUCHI SHIGERU(SUNRISE)